



9月の園だより

令和5年8月末日
社会福祉法人 札幌全育会 ちあふる・みなみ
☎215-1736
<http://www.zenikukai.jp/>

真夏日が続き、例年とは違い、大人も子どもも熱中症対策が欠かせない日々でしたが、少しずつ過ごしやすくなってきました。子どもたちは、水遊びを十分に楽しむことができた夏でした。これからは、季節の変化を感じながら、探索活動やお散歩などを楽しんでいきたいと思えます。一日の寒暖差が大きくなる時期ですので、衣服の調節をしながら、体調の変化に気をくばり、体力づくりにも力を入れていきたいと思えます。気温や天候に合わせて、無理せず楽しんでいきたいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。



9月の行事予定



- 2日(土) 第46回運動会(うさぎ組のみ参加)
- 14日(水) お弁当の日(全児)
*お弁当は、登園時に直接保育士にお渡しください
- 21日(木) 避難訓練(排水溝浸水) 14:45~
- 25日(月) 園外保育(うさぎ組のみ参加)

毎週金曜日・・・コットカバー・タオル洗濯日



♪今月のうた♪

とんぼのめがね



8月のご意見・ご要望は0件でした

《おねがい》

- ・ロッカー内の衣類の点検と、持ち物の記名の確認をお願い致します。

今月のわらべ歌



『つんぶん つんぶん』

つんぶん つんぶん
豆つんぶん
からすというばか鳥に
ざっくりもっくり
刺あされだ

「つぶ」とは、「たにし」のこと。
たんぼの泥の中にいて、雪がとけて春になって
真っ先に出会う生き物でもあり、昔は子どもた
ちには身近な貝でした。
手を丸めて「つぶ」に見立ててうたいます。

～遊び方～

- ・手を「つぶ」にすることが難しいうちは、唄遊びとして、保育士が唄い、子どもは唄の音程や響きを楽しみます。
- ・手を「つぶ」の形にできるようになったら、子どもは両手を「つぶ」にして、まずは大人が唄いながら、「つぶ」になった手をつついていきます。どの「つぶ」が最後までからすに刺されずに残るかな？と楽しめます。
- ・ルールのあるゲームができる年齢の子どもたちは、鬼決めの時に使います。まず親を決めて、親がカラスになり、片手は「つぶ」にして出し、他のみんなも片手を丸めて出します。親が唄いながら「つぶ」をつついていき、最後までつつかれずに残った人が鬼です。

